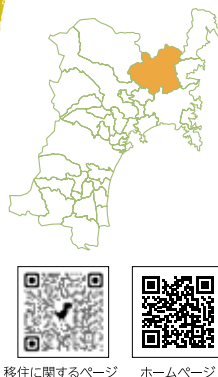


とめし 登米市

お問い合わせ
●登米市まちづくり推進部まちづくり推進課
ふるさと定住係
☎0220-23-7331
〒987-0511
宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1



■登米市暮らしのデータ

- 人口: 71,370人
 - 世帯数: 27,136世帯
 - 保育施設等の数: 41所
 - 小学校の数: 19校
 - 中学校の数: 10校
 - 病院の数: 4院
 - 一般診療所の数: 35所
- 令和7年4月1日時点

あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ

登米市は、宮城県の北東部に位置し、肥沃な大地が広がる県内有数の穀倉地帯です。北西部には、毎年多くの白鳥やガンが飛来する、ラムサール条約登録湿地の伊豆沼・内沼をはじめ、日本有数のポート場がある長沼など、まさに「水の里」に相応しい景勝地が多数あります。

また、宮城米ひとめばれ、高級ブランド牛肉「仙台牛」の産地として知られ、仙台牛の生産については、約4割が登米地域産です。

若者や子育て世代などから選ばれ、住みたいなるまちづくりを目指して、住まいの取得や子育ての支援など移住・定住の促進に取り組んでいます。

📺 動画もチェック!



〈みやぎの明治村〉明治時代に建造された洋風建築物が当時の面影を今に伝えています。



〈渡り鳥の飛来地 伊豆沼〉白鳥やガンをはじめとする渡り鳥たちの楽園です。

🚗 生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車: 約75分 (JR仙台駅～瀬峰駅 (東北本線) (+登米市民バスを利用して26分))
- ・バス: 約100分 (JR仙台駅～登米市役所 (高速バス))
- ・車: 約80分 (仙台宮城IC (東北自動車道)～築館IC～国道398号線)

地域内の移動手段

- ・電車: JR東北本線及び気仙沼線が通っており、市内には7つの駅がある
- ・バス: 市民バス (11路線、1回乗車200円) に加え、旧町域ごとに住民バス (無料) を運行している
- ・車: 東北自動車道の築館ICまで車で約25分
- ・その他: 市内4地区において、デマンド型乗合タクシーを運行

＼こんな人におすすめ!／

農業・畜産業に興味がある方

子育ての環境を充実させたい方

自然が好きな方

🏠 住まい

空き家情報

- 提供可能な空き家情報をホームページ等で紹介し、空き家を「借りたい、買いたい」とお考えの方に情報を提供



■まちづくり推進課
☎0220-23-7331

住宅取得支援

- 住宅を新築、または購入 (中古住宅を含む) した方に、住宅の取得費の10% (上限50万円、条件により加算あり) を補助

■まちづくり推進課
☎0220-23-7331

- 市内産材を使用して住宅を建築・増築する場合に最大30万円を補助、改修10万円、加算条件に応じて最大75万助成

■農林振興課 ☎0220-34-2709

- 市内の住宅や事業所等に再生可能エネルギー設備を設置する方に、設置費用の一部を補助

■環境課 ☎0220-58-5553

リフォーム支援

- 空き家情報バンクを利用した空き家所有者及び利用者に、改修費の50% (上限50万円) を補助

■まちづくり推進課
☎0220-23-7331

👨‍👩‍👧 子育て

医療費助成

- 0歳から18歳に達した後の最初の3月31日までの児童に対して、医療機関に支払う保険適用の一部負担金を助成 (所得制限なし)

■国保年金課 ☎0220-58-2166

出産支援

- 不妊に悩む方への特定治療費 (条件により1回あたり上限5万円) を補助
- 妊婦健康診査 (14回分) (多胎妊娠の場合は20回分)、産婦健康診査 (2回分) に係る費用を補助

■子育て支援課 ☎0220-58-5562

子育て支援

- お子さんの誕生に対し、第1子に3万円、第2子に5万円、第3子以降に10万円の祝い金を支給します。
- 子育て支援センターにおいて、子育て親子の交流の場を設け、絵本や紙芝居の読み聞かせ、子育てに役立つ講座を開催。また、育児相談、育児に関する情報提供などを実施

■子育て支援課 ☎0220-58-5562

- 乳幼児の任意予防接種のうち「おたふくかぜ」の費用を全額、中学3年生を対象に季節性インフルエンザ予防接種の費用の一部を助成
- 乳幼児を対象とした予防接種のスケジュール管理を基本に、感染症の流行状況、子育て情報等を提供するサイト「登米っこ」すこやかナビ」 (登録は無料)

■健康推進課 ☎0220-58-2116

- 妊婦さんを対象として、気軽に交流できる場を設け、助産師などの専門スタッフが子育ての相談に応じる「わくわくマタニティサロン」を実施
- 妊娠中のこと、お産のこと、母乳育児や子育てについての、心配なこと不安なことを毎月1回予約制で助産師に相談可能
- 子育て支援課 ☎0220-58-5562

就学・教育支援

- 公立小・中学校に在籍する児童生徒の就学が、経済的理由によって困難な世帯に対して学用品費や給食費など就学にかかる費用の一部を補助
- 新たに小学校へ入学する第3子以降のお子さん1人につき、入学祝金3万円を支給
- 学校教育課 ☎0220-34-2679



起業支援

- 農・商・工分野の地域資源を活かした起業・創業を行う方、または、地域社会の課題解決に取り組むソーシャルビジネスにより起業・創業を行う方へ、創業時に必要とする設備資金・運転資金に対する補助(上限200万円)
- 経済の活性化を図るための事業のうち商品開発・販路開拓・人材育成・施設・機械整備、店舗改修などに要する経費を補助
- 市内にある空き店舗を活用して新規出店者される方に対し、店舗改修費を最大50万円補助 家賃補助最大24万助成
- 地域ビジネス支援課 ☎0220-34-2706

就農相談

- 毎月第2水曜日に就農相談会を開催しています。
- 産業総務課 ☎0220-34-2716

相談・体験

移住相談窓口

- 各種移住相談受付中
日程等お問い合わせください
- まちづくり推進課 ☎0220-23-7331



体験ツアー・交流会

- 「移住体験ツアー」の実施
- 「オーダーメイド移住体験ツアー」の実施
- まちづくり推進課 ☎0220-23-7331

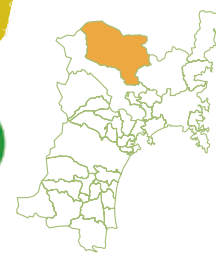
その他

結婚支援

- 令和7年4月1日以降に婚姻された49歳以下の方で、婚姻を機に新たに登米市内で住宅を取得した方、新たに住宅を賃借する方の住居費・引越し費用を支援(補助上限額40万円)
- 子育て支援課 ☎0220-58-5562

県北エリア

くりはらし
栗原市



お問い合わせ
●栗原市企画部企画課定住戦略室
☎0228-22-1125
〒987-2293
宮城県栗原市築館薬師一丁目7-1



移住に関するページ



ホームページ

栗原市暮らしのデータ

- 人口: 59,938人
- 世帯数: 24,713世帯
- 保育施設等の数: 13所
- 幼稚園の数: 9園 (うち1園休園)
- 小学校の数: 11校
- 中学校の数: 6校
- 義務教育学校の数: 1校
- 病院の数: 4院
- 一般診療所の数: 50所

令和7年4月1日時点

四季折々の景色が美しい田園都市

栗原市は、宮城県の内陸北部に位置し、面積の8割近くが森林や原野、田畑で占められた自然豊かな田園都市です。気候は、夏は残暑の期間が短く、冬は山間部(北西部)の降雪量がやや多いものの、平野部(南東部)では少ない等、温暖で暮らしやすい気候です。また、市内には東北新幹線、東北本線及び東北自動車道が通っており、市外へのアクセスがとても便利です。現在、市では移住定住を推進するため、市外から移住する場合の助成制度や子育て支援制度等を充実させ、住みよいまちづくりに取り組んでいます。

動画もチェック!



〈栗駒山〉春の雪渓、夏の新緑、秋の紅葉と四季折々の自然が楽しめる山。



〈田園風景〉秋、稲刈りを待つ、のどかな田園風景。

生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車: 約60分(JR仙台駅～瀬峰駅(東北本線))
- ・バス: 約60分(JR仙台駅～栗原市役所前停留所(高速バス))
- ・車: 約43分(仙台宮城IC(東北自動車道)～築館IC)
- ・新幹線: 約25分(仙台駅～くりこま高原駅)

地域内の移動手段

- ・電車: 東北本線が通っており、市内には2つの駅がある(瀬峰駅、有壁駅)
- ・バス: 路線バスの運行に加え、市内移動のタクシー利用助成事業を実施している(路線バス: 片道一律200円、タクシー利用助成: 自己負担上限3,000円)
- ・車: 東北自動車道は栗原市役所から築館ICまで車で約5分

こんな人におすすめ!

自然が好きな方

充実した環境で
子育てをしたい方

地域や人との
つながりを
求めている方



空き家情報

- 住まいの栗原ホームサーチ事業として、空き家の(賃貸、売買)情報をホームページで紹介
- 定住戦略室 ☎0228-22-1125

住宅取得支援

- 若者定住促進助成事業として、40歳以下の転入者等が、住宅を取得(新築・購入・増改築)した場合、借入金の年末残高5%(最大20万円)を3年間補助
- 結婚新生活支援事業として、夫婦とも39歳以下世帯所得で500万円未満の新婚世帯が、新生活を始めるための新居購入、家賃、引っ越し費用の一部を助成
上限額:夫婦ともに29歳以下60万円
夫婦ともに30歳から39歳以下30万円
- 定住戦略室 ☎0228-22-1125

家賃補助

- 夫婦とも39歳以下世帯所得で500万円未満の新婚世帯が、新生活を始めるための新居購入、家賃、引越し費用の一部を助成。
【上限額】
夫婦ともに29歳以下 60万円
夫婦ともに30歳から39歳以下 30万円
- 定住戦略室 ☎0228-22-1125



医療費助成

- 子育て応援医療費助成事業として、18歳に到達した年度末までの子どもにかかる医療費のうち、保険診療による自己負担額を保護者の所得に関わらず助成
- 子育て支援課 ☎0228-22-2360

出産支援

- すこやか子育て支援金として、1・2・3人目は5万円、4人目は10万円、5人目から20万円を支給
- 夫婦が行う不妊検査や不妊治療費用の一部を助成(不妊検査:1子ごとに1回3万円を限度、不妊治療:保険適用分を1回の治療につき5万円を限度、先進医療:1回の治療につき10万円を限度)
- 妊娠婦健診・新生児聴覚検査の費用を助成
- 妊娠婦健診を受けるため、通院にかかる費用の一部を支援
- 妊娠期のむし歯や歯周病の予防、セルフケアや、胎児の歯への意識向上のために、妊婦が市の指定する歯科医院で健診を受けた場合、市が健診料を全額負担
- 子育て支援課・こども家庭センター ☎0228-22-2360

育児費用負担軽減

- 保育所・幼稚園に2人以上同時に入所した場合、2人目以降の保育料及び幼稚園授業料が無料。令和7年10月からは同時入所に関わらず2子以降の保育料が完全無料
- スマイル子育てサポート券交付事業として、満1歳未満の乳児の保護者に対して、育児用品の支給券を交付(交付限度額:乳児ひとりにつき6万円)
- 子育て支援課 ☎0228-22-2360

- り患した際の重篤化を防ぐため、市内に住所がある方を対象に、新型コロナウイルス、インフルエンザ、おたふくかぜの任意予防接種の接種費用を全額助成
- 健康推進課 ☎0228-22-0370

生活支援

- 家族や世帯員の就労等により、放課後や学校休業日に、保育が必要な児童(1年生から6年生)に対して、家庭に代わる生活の場を提供する放課後児童クラブ事業を実施
- 子育て支援課 ☎0228-22-2360

就学・教育支援

- 経済的な理由により、修学が困難な生徒・学生(高校・高専・専修学校・短期大学・大学・東北職業能力開発大学校)に対し、奨学資金を貸与
- 市立学校における学校給食費の無償化、特別支援学校に通学する児童生徒、特別な事情で市立学校に通学することが困難な児童生徒を対象として補助金を交付
- 教育総務課 ☎0228-42-3511
- すこやか子育て支援金として、3人目から小学校入学時に10万円を支給
- 子育て支援課 ☎0228-22-2360
- 市内に住所を有する児童または生徒の保護者の方で、経済的な理由により、学用品費などの支払でお困りの場合にその費用の一部を援助
- 学校教育課 ☎0228-42-3512



起業支援

- 市内で空店舗や住宅等を改修し、飲食店、小売店、事務所等を開業する方に対して、建物の改修及び設備導入費用の1/2の額(上限50万円)、開業する店舗等の賃借料の1/2の額(上限月額4万円、最長12月間)を補助
- 上記補助金の交付決定を受けた方を対象に、起業、経営等のノウハウ取得のための研修参加費用の2/3の額(上限20万円)を補助
- 産業戦略課 ☎0228-22-1220

就職支援

- 申請時点で市内に住所を有し、令和5年4月1日以降に市内事業所等に正規雇用され、5年以上就労する意思を有する方に対して、奨学金の返還額の一部(年額上限20万円、最長60ヵ月、総額最大100万円)を補助
- 産業戦略課 ☎0228-22-1220

相談・体験

お試し住宅

- 栗原市への移住を考えている方が、田舎暮らしを気軽に体験できる住宅を1棟整備
- 利用料：無料
- 利用期間：1回あたり3～10日
- 定住戦略室 ☎0228-22-1125

移住交流会

- 市内に移住された「先輩移住者」や移住を検討されている方の交流の場として定期的に開催
- ゆるやかなつながりの中から「志縁」のコミュニティが創られています。
- 定住戦略室 ☎0228-22-1125

その他

地域おこし協力隊

- 栗原市では、新たな視点や発想により、地域を活性化することを目的に、地域と共に課題に取り組みながら、起業・定住する意欲のある方を募集しています。
- 詳しくは、市公式ホームページをご覧ください。
- 市民協働課 ☎0228-22-1164

読書支援

- 3～4カ月児健診の際に、司書が、絵本を開く楽しい体験といっしょに絵本をプレゼント
- 3歳児健診を受診する保護者と幼児に、図書館が指定する絵本の中から気に入った1冊を選んでもらい、プレゼント
- 栗原市立図書館 ☎0228-21-1403



県北エリア

おおさきし
大崎市



お問い合わせ

●大崎市市民協働推進部政策課地方創生担当
☎0229-23-2129
〒989-6188
宮城県大崎市古川七日町1-1



移住に関するページ



ホームページ

■大崎市暮らしのデータ

- 人口：121,226人
 - 世帯数：53,052世帯
 - 保育施設等の数：48所
 - 小学校の数：15校
 - 中学校の数：9校
 - 病院の数：15院
 - 一般診療所の数：65所
- 令和7年4月1日時点

自然と都市が調和する都(くに)・ おおさき

大崎市は宮城県の北西部に位置し、銘柄米ササニシキやひとめぼれ、ささ結などの一大穀倉地帯を形成しています。江合川と鳴瀬川が育んだ広大で肥沃な大崎耕土に受け継がれた、持続可能な水田農業を支える伝統的水管理システムは、世界農業遺産に認定されています。市内には、ラムサール条約登録湿地の蕪栗沼・周辺水田や化女沼、国民保養温泉地に指定された鳴子温泉郷、鳴子峡やひまわりの丘などの景勝地、伝統工芸品の鳴子こけしや竹細工などの地域資源が豊富です。県北部の中核医療施設である大崎市民病院のほか、商業施設や工場が多く立地し都市基盤を形成しています。

動画もチェック!



〈鳴子温泉郷〉日本にある10種のうち7種の泉質があり、湯めぐりが楽しめる。



〈政宗公まつり〉毎年9月に開催され、甲冑を着ての伊達武者行列は迫力満点である。

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車：約15分（JR仙台駅～古川駅（東北新幹線） 約1時間（JR仙台駅～小牛田駅～古川駅（東北本線から陸羽東線に乗り継ぎ））
- ・バス：約60分（JR仙台駅～古川駅前（高速バス））
- ・車：約60分（仙台宮城IC～古川IC（東北自動車道）～国道47号線）

地域内の
移動手段

- ・電車：東北本線（4駅）と陸羽東線（13駅）が通っている。
- ・バス：JR古川駅起点として、路線バス7路線、事業者路線1路線、古川地域中心部の循環便3路線、路線バス及び事業者路線は距離制運賃、循環便は1回100円
- ・車：JR古川駅から東北自動車道古川ICまで約10分
- ・その他：市内5地域でデマンド型乗合タクシーを運行

＼こんな人におすすめ!／

多泉質の温泉を
楽しみたい方

水田農業に
興味がある方

歴史・伝統工芸に
興味がある方



空き家情報

- 空き家の情報をウェブサイトで紹介



■環境保全課 ☎0229-23-6074

住宅取得支援

- 市内へ移住する40歳以下の若者世帯が、住宅を新築または購入し、移住する場合、対象費用のうち住宅ローンの借入金を充当する額の10%(上限100万円)を補助(各種加算あり)



■建築住宅課 ☎0229-23-2108

- 主要構造部材に市産材や市産材で「優良みやぎ材」を一定以上使用する住宅を新築する場合、使用量に応じて費用の一部を助成(市外居住者が市内に新築する場合の上限額75万円)

■農村環境整備課 ☎0229-23-2318

リフォーム支援

- 市内へ移住する40歳以下の若者世帯が、購入した住宅をリフォームして移住する場合、リフォーム工事費の1/3(上限50万円)を補助(マンションは上限40万円・各種加算あり)
- 市内に住宅を所有している世帯が、市内へ移住する40歳以下の若者世代と3世代で同居するためのリフォーム工事費の1/3(上限75万円)を補助(各種加算あり)

■建築住宅課 ☎0229-23-2108

家賃補助

- 市外に居住している若者世帯が、市内に在る補助対象となる一戸建ての空き家に賃貸契約をして移住する場合、所有者等に対し、家賃の一部(上限月額4万円)を補助

■建築住宅課 ☎0229-23-2108



医療費助成

- 18歳になる年度の末日(高校生相当)まで、入院・通院にかかる保険診療自己負担額を助成。



■子育て支援課 ☎0229-23-6045

出産支援

- 妊婦健康診査費用助成
(最大14回 多胎は13回分追加交付)
- 妊婦歯科健康診査費用助成
(妊娠中1回)
- 産婦健康診査費用助成
(産後2週間、1か月)
- 産後ケア事業 お母さんと赤ちゃんで、産科医療機関や助産院に宿泊・通所又は助産師が訪問し、休息を取りながら産後のケアや育児相談が受けられます。
(要件、自己負担あり)

■健康推進課 ☎0229-23-2215

子育て支援

- 子育てわくわくランドでは、乳幼児の一時預かりや、親子で一緒に遊べるスペース、子育て情報の提供、子育て相談などを通じ、子育て世代の親子の交流や子育てを支援



■子育てわくわくランド ☎0229-24-7778

就学・教育支援

- 経済的理由によって就学困難な児童・生徒の保護者に対して、学用品費、修学旅行費、学校給食費等の一部を助成
 - 奨学資金貸与事業を実施
- 学校教育課 ☎0229-23-2212



就職支援

- 大崎エリアを中心とした企業情報を紹介
「みやぎ大崎企業ナビ」



■産業商工課 ☎0229-23-7091

起業支援

- おおさきチャレンジ創業応援補助金
市内で創業される方へ、店舗改修費、備品購入費などの経費の一部の補助(上限50万円)
- 産業商工課 ☎0229-23-7091

就農支援

- 認定新規就農者が農業機械の導入や施設整備を実施する際に、対象経費の1/2以内を補助
(上限:施設整備・機械導入 50万円)
- 農政企画課 ☎0229-23-7090



しかまちょう 色麻町

お問い合わせ
●色麻町地域振興課地域振興係
☎0229-65-2123
〒981-4122
宮城県加美郡色麻町四竈字北谷地41



ホームページ

■色麻町暮らしのデータ

- 人口: 6,061人
 - 世帯数: 2,087世帯
 - 保育施設等の数: 1所
 - 小学校の数: 1校
 - 中学校の数: 1校
 - 病院の数: 1院
 - 一般診療所の数: 1所
- 令和7年4月1日時点

人と自然の恵みの中で 「SHIKAMER's Life」

宮城県のほぼ中央内陸部に位置し、西に船形連峰、東には大崎耕土が広がる自然豊かな町です。地域に残る「かっぱ伝説」と特産品の「えごま」により地域のPRを行っています。

町では、企業協力による「地域活性化住宅」の整備や、雇用創出のための企業誘致、結婚支援、子育て支援と、安心して暮らせる環境を整備しています。

自然の中、人々のふれあいと笑顔あふれる暮らし「SHIKAMER's Life」をおくってみませんか？

動画もチェック！



〈シャクヤク祭り〉約4000㎡の畑に約1万株の花が咲き誇り、多くの来園者で賑わいます。



〈しかまの水源〉おいしい作物を育てる船形山の源流です。

生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・バス: 約60分 (JR仙台駅～色麻町役場前 ほか (高速バス))
- ・車: 約60分 (国道457号線～国道4号線)

地域内の
移動手段

- ・バス: 路線バスが「大崎市民病院」「JR古川駅」まで運行している
- ・車: 東北自動車道の大衡ICまで車で約15分
- ・生活上、自家用者の必要性は高い地域です

＼こんな人におすすめ！／

自然に囲まれた生活、
子育てを希望される方

農業に興味がある方

「まちづくり」への
参加に興味がある方

住まい

空き家情報

- 町内にある空き家所有者と、活用ニーズを結びつける事業
- 地域振興課 ☎0229-65-2123

住宅取得支援

- 町の定住人口増加と活性化を図るため、新築又は既存住宅のリフォーム工事を行う者に対し、最大50万円の補助金を交付
- 地域振興課 ☎0229-65-2123

子育て

医療費助成

- 満18歳以下で町内に住所を有する方は自己負担無料
- 町民生活課 ☎0229-65-2156

出産支援

- 多子世帯に対し出産祝金
 - ①第1子: 3万円
 - ②第2子: 5万円
 - ③第3子以降: 10万円
- 子育て支援課 ☎0229-66-1731

就学・教育支援

- 学業優秀で就学を希望しているにも関わらず、経済的理由により、就学困難な生徒に対し資金を融資
- 教育総務課 ☎0229-65-2212

子育て支援

- 町立学校(義務教育学校、こども園)に在学する子どもたちの給食費を軽減(軽減率等は町ホームページで)
- 学校給食センター ☎0229-66-2551

仕事

就職支援

- 就職を希望する方に対し、無料で職業相談及び紹介を行い、定住化促進や町民の雇用の確保に努めています
- 町民生活課 ☎0229-65-2156

就農支援

- 就農意欲の喚起と定着を図るため、青年新規就農者・経営継承者に対して就農前の経営が不安定な就農直後の所得を確保を支援する
- 農林課 ☎0229-65-2128

その他

結婚支援

- 独身者の婚姻を推進するため、結婚支援センターに入会するための経費を助成
- 地域振興課 ☎0229-65-2123

かみまち
加美町



■加美町暮らしのデータ

- 人口: 20,750人
 - 世帯数: 8,236世帯
 - 保育施設等の数: 6所
 - 小学校の数: 8校
 - 中学校の数: 2校
 - 一般診療所の数: 12所
- 令和7年4月1日時点

お問い合わせ

●加美町ひと・しごと推進課移住定住推進係
☎0229-63-5611
〒981-4292
宮城県加美郡加美町字西田三番5番地



Instagram



ホームページ

美しい大自然と文化のハーモニー
あなたらしい暮らしが見つかる町

加美町は農業を基幹産業とする、四季折々の自然が満喫できる美しい町です。葉菜山の麓には、温泉・プール・パークゴルフ場・直産施設・地ビールレストラン・牧場などの魅力がいっぱい。日本で7番目のジャパンエコトラックに認定され、カヤックやトレッキングも親子で楽しめます。国内有数の音響を誇るバツハホールでは、数々のコンサートが開催され音楽に触れることができます。ヴァイオリン・チェロ・パイプオルガンを学べるバツハホール音楽院も人気。「癒し」と「アクティブ」の共存、そのバランスがちょうどいい。加美町で、もっともっと楽しめる自分に出会えます。



〈アウトドアが楽しめる町〉町のシンボル葉菜山を背景に…。アウトドアが楽しめる雄大な自然が自慢



〈バツハホール管弦楽団〉町が有する市民オーケストラ。バツハホールで演奏会を行う。

🚗 生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車: 約12分 (JR仙台駅～JR古川駅(東北新幹線) (+ミヤコーバスを利用して25分))
- ・バス: 約1時間15分 (JR仙台駅前～中新田停留所(高速バス))
- ・車: 約50分 仙台宮城IC～三本木スマートIC(東北自動車道)～国道4号、47号及び県道157号線

地域内の
移動手段

- ・電車: JR古川駅まで車で約20分、JR西古川駅まで車で約10分
- ・バス: 路線バスに加え、住民バスを運行(定時定路線バス、デマンドバス(要予約))
- ・車: 東北自動車道の各ICは最大20分圏内(古川IC約15分、大和IC約20分、大衡IC約20分、三本木スマートIC約20分)

＼こんな人におすすめ!／

充実した
教育・子育て環境を
お探しの方

アウトドアを
楽しみたい方

地酒・地ビールなど
お酒が好きな方

🏠 住まい

空き家情報

- WEBサイト(加美町空き家バンク)にて空き家情報を公開。



■ひと・しごと推進課 ☎0229-63-5611

住宅取得支援

- ファミリー住ま居る住宅取得補助金
マイホームを購入した新婚・子育て世帯、新規転入者を対象に最大100万円を補助。また、Uターンし、親と同居する場合の増改築に最大60万円を補助。
- フラット35
住宅金融支援機構と連携して、全期間固定金利住宅ローン【フラット35】(当初5年間0.5%または0.25%の金利引き下げ)を受けられる。

■ひと・しごと推進課 ☎0229-63-5611

- 加美町脱炭素ライフ推進事業補助金
住宅への下記設備の設置に対し、設備毎に上限10万円を補助。

- ①住宅用太陽光発電システム
- ②定置用蓄電池
- ③木質バイオマスストーブ、ボイラー

■町民課 ☎0229-63-3112

家賃補助

- 若年者移住促進家賃補助金
進学や就職により町内に転入した20代の方に対し、単身世帯は6万円、結婚世帯は10万円を支給(最長5年間)

■ひと・しごと推進課 ☎0229-63-5611

👨‍👩‍👧 子育て

医療費助成

- 医療費無料高校卒業(18歳到達後最初の3月31日)まで医療費無料。(入院・通院ともに助成対象。所得制限はなし。生活保護を受けている場合は助成を受けることができません。)

■こども家庭課 ☎0229-87-8730

出産支援

- 妊婦健診費用助成(最大14回まで)
 - 妊婦歯科健診無料
 - 新生児聴覚検査費用助成(上限5千円)
 - 産婦健康診査助成(2回)(1回上限5千円)
 - 1か月児健康診査助成(上限3千円)
 - 産前・産後サポート事業
産前・産後それぞれ月1回、妊娠・出産に関すること、産後の母体・児のケア、赤ちゃんマッサージなど助産師がアドバイス。
 - 産後ケア事業
産後のお母さんの疲労回復や育児不安に対して、助産院等にお泊りや日帰りでケアを受けることができます。また、家庭訪問で助産師によるケアやアドバイスも実施。(要予約。自己負担有)
 - 妊婦のための支援給付金の支給
妊娠された方に、現金5万円を2回支給
- こども家庭センター ☎0229-87-8020

- 出産祝い金の支給
第1子、第2子は2万円分の商品券、第3子以降は5万円分の商品券と現金5万円を支給
出産の1年前から加美町に住所を有している方が対象

■こども家庭課 ☎0229-87-8730

就学・教育支援

- 幼児ことばの教室
就学前の幼児を対象に、お子さんの「ことば」に関する悩みにお応えしています。
- 就学援助
経済的理由によって学用品の代金や給食費にお困りの小・中学生の保護者に対して費用の一部を助成。
- 奨学金制度
有用な人材を育成するため、経済的理由により就学が困難な方に対し奨学金を貸与。町内に在住のお子さんで、高等学校、専門学校、短期大学、大学及び大学院に進学しようとする方のうち学校長の推薦を受けた方が対象。
- 学校給食費半額支援
子育て世帯の負担軽減のため、町内小・中学生の給食費の半額を町で補助します。また、町外の学校に通う小・中学生の給食費についても補助金を支給します。
- 教育総務課 ☎0229-69-5112

子育て支援

- 絵本プレゼント(ブックスタート)
生後4ヶ月の乳児がいる家庭に絵本とアドバイス集などをプレゼント。
- 中新田図書館 ☎0229-63-6100
- 保育料の減免
0歳児から2歳児の保育料を町独自で減免。また、就学前の児童を対象に2人目は半額、3人目以降は無料
- 一時預かり保育
保護者の仕事、傷病(通院・入院)、冠婚葬祭等、緊急・一時的に保育が必要になるお子さんをお預かりします

- こそだておうえんBOOK、子育て応援アプリ「かみ〜モ」
加美町で子育てをしている方のお役立ち情報(事業や助成、遊び場・公園等の情報)を掲載
※「こそだておうえんBOOK」は紙媒体での配布終了。町HPで閲覧が可能です。
- 子育て支援センター・子育て広場
0歳から就学前までのお子さんと保護者が対象。育児の相談、子育て情報、お子さんのあそび場の提供等。
- 放課後児童クラブ
町内の小学生で、保護者の就労などの理由により放課後家庭で過ごすことが難しいお子さんを、平日の放課後・夏休み・冬休み・春休み期間中に預かりしています。
- 病児・病後児保育
ありまファミリークリニックに併設している「しまうま保育室」で、生後6か月からおおむね小学校3年生までを対象として実施しています。
(事前登録、利用予約が必要です。)
- こども家庭課 ☎0229-87-8730
- 何でも育児相談
保健師・栄養士による個別相談を実施。身長・体重の計測、取り分け離乳食のレシピ配布など。
- こども家庭センター ☎0229-87-8020

仕事

就職支援

- 無料職業紹介所の開設
ハローワーク、町内企業等と連携し、相談員が個別に求人情報を紹介
- 加美町ふるさと就職奨励補助金
町内に居住している方ではじめて就職する20代に対し10万円支給
- ひと・しごと推進課 ☎0229-63-5611

起業支援

- 起業者育成支援事業助成金
地域の資源などを活用し、新商品の開発や新しい発想で事業を行う起業者を支援するため、1事業30万円(連続した3箇年度に限る)を上限に助成
- ひと・しごと推進課 ☎0229-63-5611

就農支援

- 新規就農者育成総合対策補助金
新規就農者に①経営発展支援事業として機械・施設等導入経費を補助、②経営開始資金を交付
(①②ともに諸条件あり)
- 農林課 ☎0229-63-3408

その他(仕事)

- 奨学金返還支援補助金
町内に居住している方で支援対象となる奨学金を返還しながら就労している20代の方に対し、前年度に返還した奨学金の2/3以内(最大20万円)を補助
- ひと・しごと推進課 ☎0229-63-5611

相談・体験

移住相談窓口

- 移住相談、職業相談、住まいの相談までワンストップであなたの暮らしをサポート!
- ひと・しごと推進課 ☎0229-63-5611
- 移住体験ツアー
かみまち体験プライベートツアー
加美町での暮らしをイメージできるよう個別に日程、ツアーの内容を作成し、町内をご案内します
- ひと・しごと推進課 ☎0229-63-5611

その他

結婚支援

- 出会い&ふれあい応援事業
出会いイベントやふれあい体験の開催、各種結婚相談に対応
- 中新田公民館 ☎0229-63-2029
- 加美町結婚新生活支援事業補助金
結婚を機に加美町へ移住される新婚さんへ、引越費用等を補助。(最大30万円)
- ひと・しごと推進課 ☎0229-63-5611

地域おこし協力隊

- 地域おこし協力隊
会計年度任用職員として地域おこし協力隊を委嘱。積極的に地域と関わり、住民とコミュニケーションを図り活動ができる方、将来にわたって加美町に定住し、就業起業する意欲のある方を募集
- 詳細は



- ひと・しごと推進課 ☎0229-63-5611

わくやちょう 涌谷町



■涌谷町暮らしのデータ

- 人口: 14,159人
 - 世帯数: 5,960世帯
 - 保育施設等の数: 7所
 - 小学校の数: 3校
 - 中学校の数: 1校
 - 病院の数: 3院
 - 一般診療所の数: 3所
- 令和7年4月1日時点

お問い合わせ

●涌谷町企画財政課企画班

☎0229-43-2112

〒987-0192

宮城県遠田郡涌谷町字新町裏153番地2



移住に関するページ



ホームページ

やんべな町でわくわくすっぺし涌谷町

涌谷町には、天平21年(749年)日本で初めて金が発見され、奈良東大寺の大仏建立に当たり、鍍金用の黄金900両(約13kg)を献上したという歴史があります。また、ひとめぼれ、小ネギ、ホウレンソウなどの産地として農業も盛んであり、歴史と豊かな自然を身近に感じられる町です。

隣接する石巻市や大崎市の中心部には車で約30分、仙台市にも約1時間で行けるため、交通のアクセスも良好です。涌谷町に住み、近隣市町へ通勤する方も多くいらっやいます。近隣の海にも山にも行けるので「やんべな(ちょうどいい)町」です。

▶動画もチェック!



〈わくや桜まつり〉城と桜の景色は絶景。期間中に開催される鞍馬競技大会は迫力満点。



〈黄金山産金遺跡〉国内で初めて金を産出し、奈良東大寺の大仏に鍍金された。

生活交通情報

仙台市との距離感

- ・電車(JR): 約60分(仙台駅～小牛田駅(東北本線)、小牛田駅～涌谷駅(石巻線))
- ・車: 約70分(仙台東IC(三陸自動車道)～松島北IC～国道346号線)

地域内の移動手段

- ・バスは平日のみの運行のため、生活上自家用車の必要性は高い地域です。
- ・車: 三陸自動車道松島北ICまで車で約30分

＼こんな人におすすめ!／

子育て・福祉環境を充実させたい方

味わい深いお米・新鮮な野菜を楽しみたい方

黄金や桜が好きな方

住まい

空き家情報

- 空き家、空き地の情報をホームページ等で紹介



■町民生活課 ☎0229-43-2113

住宅取得支援

- 涌谷町内に転入してから5年未満で、町内に住宅を取得してから1年以内の世帯を対象に、住宅取得費の5%(上限20万円)、子育て世帯加算(上限20万円)、町内建築業加算(上限10万円)を補助。

■企画財政課 ☎0229-43-2112

子育て

医療費助成

- 18歳までの子ども医療費が所得制限なく全額助成
- 子育て支援課 ☎0229-25-7906

出産支援

- 妊婦健康診査受診を14回分助成
- 県外里帰り出産をする妊婦に対して、県外での妊婦検診費用を助成
- 妊婦のための支援給付金(妊娠中1人当たり5万円、産後1人当たり5万円を支給)
- 妊婦歯科健康診査を1回分助成
- 産婦健康診査を2回分助成。
- 健康課 ☎0229-25-7973

子育て支援

- 親子で遊べる子育て支援センターがある
- 保育所に在籍していないお子さんの乳幼児一時預かりを実施
- わくや地域子育て応援団(ファミリー・サポートセンター)がある
- 第3子以降の子が小学校に入学する保護者に対し、子1人につき3万円を支給
- 子育て支援短期入所(ショートステイ)ができる
- 子育て支援課 ☎0229-25-7906

仕事

起業支援

- 中小企業振興資金融資制度(融資上限2千万円、信用保証料は町が全額補給、利子補給あり)
- 産業振興課 ☎0229-43-2119



みさとまち 美里町



■美里町暮らしのデータ

- 人口: 22,707人
- 世帯数: 9,395世帯
- 保育施設等の数: 8所
- 小学校の数: 6校
- 中学校の数: 1校
- 病院の数: 2院
- 一般診療所の数: 8所

令和7年4月1日時点

お問い合わせ
●まちづくり推進課
☎0229-33-2180
〒987-8602
宮城県遠田郡美里町北浦字駒米13番地



移住に関するページ



ホームページ

海も山もない。それでも、だからこそ、 ここには住みよさがある。

仙台市からおよそ40kmの距離にある美里町(みさとまち)は、海も山もなく、町の面積の約70%を田畑が占める平たんな土地が特徴。毎年田植えの時期を迎えると、水が張られた田んぼが光を帯び、美しい田園風景が広がります。

また、交通の要所として栄えてきた「JR小牛田(こごた)駅」は、県内では仙台駅に次いで2番目に多い3つの沿線が通る駅で、仙台市・石巻市・大崎市への電車通勤が可能。その利便性から、県外から定住される方も見受けられます。



〈JR小牛田駅〉東北本線・石巻線・陸羽東線が通り、しばしば始発・終着駅にもなります



〈空からの眺め〉太平洋気候の美里町は、冬の降水量が低く比較的雪が少ない地域です

🚗 生活交通情報

仙台市
との
距離感

- ・電車: 約45分(JR仙台駅～小牛田駅(東北本線))
- ・車: 約60分(一般道経由)

地域内の
移動手段

- ・電車: JRの各線が結節する小牛田駅を中心に乗り換えなしで仙台駅から約45分、古川駅から約13分、石巻駅から約40分
- ・バス: ワンコイン(100円)で利用できる住民バスを運行
- ・車: 東北縦貫自動車道、三陸縦貫自動車道の各ICまでは、いずれも約30分圏内

＼こんな人におすすめ!／

田舎すぎない暮らし
を求めている方

都会で働きながら
田舎で暮らしたい方

起業を考えている方

🏠 住まい

空き家情報

- 空き家、空き地の情報を希望者に情報提供、ホームページに掲載



■まちづくり推進課 ☎0229-33-2180

住宅取得支援

- 交通アクセスの良さから、移住・定住する人々も多く、子育て世帯からの注目も熱い美里町では、新たに持家を取得し定住しようとする方に対して支援をおこなっております。

- ・補助金額: 30万円
- ・補助金の加算

(1)転入世帯加算: 10万円

(2)新婚世帯加算: 10万円

(3)子育て世帯加算: 15歳以下の子ども一人につき10万円

■まちづくり推進課 ☎0229-33-2180

リフォーム支援

- 賃貸を目的として空き家を改修する方に対し、経費の1/2を補助(上限100万円)

■まちづくり推進課 ☎0229-33-2180

家賃補助

- 空き家再生補助金で改修した家を賃借する40歳以下の方に月額1万円を限度に、最長2年間補助

■まちづくり推進課 ☎0229-33-2180

👨‍👩‍👧 子育て

医療費助成

- 子ども医療費助成は、町内に住む高校生(18歳)までが対象

■子ども家庭課 ☎0229-33-1411

出産支援

- 不妊検査費・不妊治療費の助成を行っています。助成要件がありますので詳細は担当課に問合せください。

■健康福祉課 ☎0229-32-2945

就学・教育支援

- 高校生、大学生向けの無利子の奨学金制度

■教育総務課 ☎0229-58-0500

子育て支援

- 小学校入学給付金: 第3子以降の子どもが小学校に入学する場合、入学前に準備金として第3子以降の子ども1人につき3万円を支給します。

- 放課後児童クラブ運営事業: 保護者の就労などにより、放課後や長期休業中に家庭で過ごすことが難しい児童をお預かりしています。(町内小学校6校に対し6か所で実施)

■子ども家庭課 ☎0229-33-1411

📁 仕事

起業支援

- 起業家・起業予定者のためのシェアオフィスを提供(光熱水費、通信料及び共益費を含み月額8千円(税別))

■産業振興課(起業サポートセンターkiribi)
☎0229-25-3329